

学習課題(小学校3年生)

【音楽】 パソコンなどで、見たりきいたりできる人は、取り組んでみましょう。

<学習内容>



◆音の重なりを楽しみながら『エーデルワイス』をえんそう
しましょう。（教科書 68～69 ページ）

※参考動画 http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/gakushuukadai_shou3.html

- (1) 教科書 68～69 ページの楽譜（リコーダー1のパート）を見ながら、『エーデルワイス』をきいて、曲の感じをつかみましょう。
※指揮をするなど、体を動かしながらきいて、3拍子を感じ取りましょう。
※右上の二次元バーコードから範奏をきくことができます。
- (2) リコーダー1のパート（主なせんりつ）やリコーダー2のパートをえんそうしましょう。
※運指や息の使い方に気を付けてえんそうしましょう。
※リコーダー2のパートは「レ」「ミ」「ファ」の音が多いです。“ひくい音をふくときのポイント（教科書 45 ページ）”を思い出して、えんそうしましょう。
※せんりつのまとまりを生かしてえんそうするために、息つき（ブレス）の記号に気を付けながら、なめらかにえんそうしましょう。
※各パートのえんそうの様子は動画でも確認できます。
- (3) 鉄琴のパートや鍵盤ハーモニカのパートを鍵盤ハーモニカでえんそうしましょう。
- (4) 範奏がきける人は、範奏に合わせて、自分が気に入ったパートをえんそうしましょう。自分以外のパートの音をききながら、音を合わせてえんそうしましょう。
※重なり合う音のひびきを感じ取りながらえんそうしましょう。
※合奏の様子は動画でも確認できます。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・合奏では、重なり合う音の響きに気を付けて演奏を工夫する力を大切にしています。パートによって、工夫の仕方は違いますが、全体のバランスを意識して、音の大きさや音色の工夫ができるような声かけをお願いします。
例)「リコーダー2のパートは、主な旋律（リコーダー1）の演奏をよく聴いて、息つきを合わせたり、柔らかい音色で演奏したりするといいね。」
例)「鉄琴のパートを鍵盤ハーモニカで強く吹くと、リコーダーの旋律を消してしまうね。」
- ・可能であれば、お子さんと役割を分担して、一緒に演奏してみてください。音が重なり合う響きを楽しみ、合奏の喜びを味わうことができます。